

REVISION BRIEFING

# 一等無人航空機操縦士

実地試験実施細則 改正ポイント解説

令和8年6月5日 施行

一等無人航空機操縦士（基本・目視内限定変更・昼間限定変更・25kg未満限定変更）登録講習機関講師・終了審査員 フライトデスク監修

# 改正ポイント全体像

## I章 総則

### 変更

補助員の報告先が「試験員のみ」に変更

※ 安全報告の指示システムを試験員に一元化し、情報の混乱を防止する趣旨。

### 厳格化

風速基準が「以下」→「未滿」に厳格化

※ 境界値を含まなくなるため、従来許容されていた風速5m/s等での実施が不可に。

### 新設

受験者補助員の制度・資格要件を明文化

※ 補助員の資格・役割・携行書類等が初めて細則に明記された。

### 新設

試験はその日のうちに完了させることを規定

※ 翌日への繰越しが認められなくなり、試験日程の管理がより厳格になった。

### 新設

保護具（ヘルメット等）着用の義務化

※ ヘルメット・目の保護具等の着用が義務として明確に規定された。

## II章 減点適用基準

### 新設

飛行前点検・飛行後点検の減点基準を新設・集約

※ 飛行前後の点検漏れが独立した減点対象として採点表に明示された。

### 変更

減点区画復帰を「速やか」→「概ね2秒以内」に明確化

※ 「速やか」という曖昧な表現を廃止し、客観的な時間基準を導入。

### 新設

「高度のズレ」が新たな減点項目に追加

※ 指定高度からの逸脱が明示的な減点項目として追加され、精度が問われる。

### 変更

8の字・円周飛行の不合格基準が明確化

※ コース逸脱の判定条件が数値等で明文化され、採点の統一性が図られた。

### 新設

机上試験・事故報告の減点基準を集約

※ 分散していた採点項目を一表に集約し、採点者・受験者双方の確認を容易化。

## III～VI章 各実技試験 / VII章 準用

### 変更

緊急着陸が1段階→2段階手順に変更（基本・夜間・25kg）

※ 1段階手順から「通報→着陸」の2段階に変更され、操作順序の確認が必須に。

### 変更

目視外飛行で「機体を見ない状態で着陸」が明記

※ 目視外飛行の着陸フェーズで機体を視認しない状態での操作が正式に規定。

### 変更

夜間限定 机上試験の出題内容が変更

※ 夜間の机上試験で問われる法令・気象等の出題範囲・構成が見直された。

### 変更

各章の表が「減点基準」→「制限時間」列に整理

※ 表の列構成が整理され、減点ポイントと制限時間の対応が一目で分かるように。

### 新設

机上・口述審査の問題は国等提供のものを使用と明文化

※ 試験機関独自の問題使用が禁止され、問題の標準化・公正性が担保される。

## I章 総則

# 試験運営ルールの変更

### 変更 補助員の報告先が「試験員のみ」に

#### 改正前

補助員は「試験員と受験者」の両方に区画進入を知らせる

#### 改正後

補助員は「試験員だけ」に知らせる

**場面イメージ** 受験者の「ヒント依存」をなくすため。自分で機体位置を把握する必要があります。

### 厳格化 風速基準が「以下」→「未満」に

#### 改正前

基準値「以下」の風速であれば実施OK（基準値ぴったりでもOK）

#### 改正後

基準値「未満」でないと実施NG（基準値ぴったりはNG）

**場面イメージ** 例：基準5m/s → 改正前は5.0m/sでもOK、改正後は4.9m/s以下でないとNG。

### 新設 受験者補助員の制度が正式に追加

#### 改正前

（規定なし）

#### 改正後

「受験者補助員」を正式定義。緊急時は受験者に代わって操縦可能

**場面イメージ** 制御を失いそうな場合、試験員の判断で代わりに操縦。受験者が自ら配置します。

### 新設 受験者補助員の資格要件が明文化

#### 改正前

（規定なし）

#### 改正後

直近2年間で「6ヶ月以上の飛行経験」かつ「50時間以上の飛行実績」が必要

**場面イメージ** 緊急時に実際に機体を扱える人でないと意味がないための要件です。

## I章 総則

# 安全対策の強化（新設規定）

### 新設 試験はその日のうちに完了させる

改正前  
（日跨ぎについて明文規定なし）

改正後  
やむを得ない事由を除き、各試験科目はその日に完了すること

場面イメージ 「口述は来週」はNG。別日持越しは公平性が保てないため。

### 新設 保護具着用が義務化

改正前  
（着用義務の明文規定なし）

改正後  
実技・口述（機体作動を伴うもの）で全員がヘルメット・保護メガネ等を着用

場面イメージ 受験者だけでなく試験員・補助員全員が対象。全員分の準備が必要です。

## 対応チェック

- ✓ 補助員の要件（6ヶ月以上・50時間以上）を満たす人材が
- ✓ 受験者・試験員・補助員全員がヘルメット・保護メガネを着用
- ✓ 試験スケジュールは「その日に完了」すること
- ✓ 机上審査・口述審査の問題が国または指定試験機関提供する最新のものに一部変更される

## II章 減点適用基準

# 採点ルールの特典化

### 新設 飛行前・飛行後 口述の減点基準が集約

#### 改正前

各章（III～VI）の表内に分散して記載

#### 改正後

II章に集約。複数該当は最も高い1つだけを適用

**場面イメージ** 飛行前：点検漏れ10点/記載漏れ5点/軽微1点 飛行後：点検漏れ5点/記録漏れ10点。

### 変更 復帰基準が「速やか」→「概ね2秒以内」

#### 改正前

減点区画進入後「速やかに」復帰すれば初回は減点なし（曖昧）

#### 改正後

「概ね2秒以内」に復帰すれば初回は減点なし（数値で明確化）

**場面イメージ** 2秒以内なら初回のみ減点なし。3秒で5点減点。2回目以降は猶予なし。

### 新設 「高度のズレ」が新たな減点項目に

#### 改正前

高度逸脱についての明示的な減点規定なし

#### 改正後

指示した高度と明らかに異なる高度で飛行させたとき→5点減点

**場面イメージ** スクエア飛行の高度変化指示（1.5m→3.5m等）は特に注意。

### 変更 8の字・円周飛行の不合格基準が明確化

#### 改正前

「飛行経路中心より手前で周回」→不合格（感覚的表現）

#### 改正後

「設定された円形経路の中心を含まず周回」→不合格

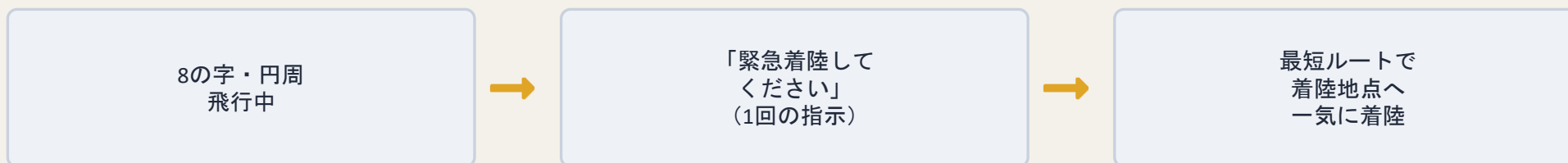
**場面イメージ** 中心点を含まない小さな円は不合格。中心通過ならルートずれは減点にとどまる。

# 緊急着陸手順の変更【最重要】

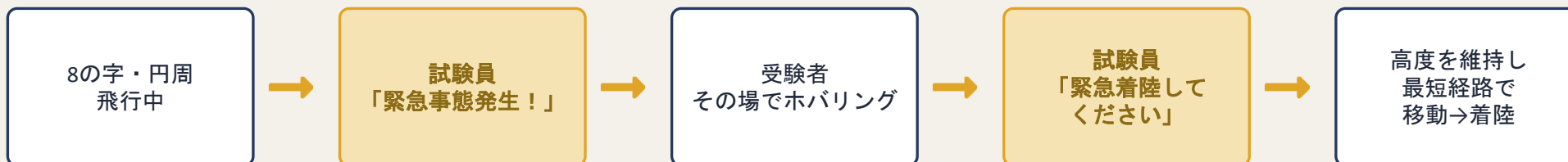


緊急着陸が「1段階」→「2段階」手順に変更（基本・夜間・25kg 限定変更 共通）

改正前の手順



改正後の手順



**受験生・講師・終了審査員への重要通知：**

採点項目の「緊急着陸」手順が2段階に変更されました。「緊急事態発生」宣言でホバリング → 「緊急着陸」口頭指示で移動・着陸 という流れに変わりました。

# 目視外飛行・書類整理・準用規定

## 変更 目視外飛行で「機体を見ない状態で着陸」を明記

### 改正前

「移動完了後、着陸を行う」（目視禁止が不明確）

### 改正後

「移動完了後、機体を見ない状態で着陸を行う」と明記

**場面イメージ** 着陸の瞬間も振り返って機体を見てはいけません。見た場合は不合格。

## 変更 夜間限定 机上試験の出題内容が変更

### 改正前

「立入管理措置を講じない条件での夜間飛行計画」を問う

### 改正後

「昼間・目視内、立入管理措置なし」の模擬計画から夜間との違いを問う

**場面イメージ** 昼間との違いの理解を問う構成に。テキスト・問題の確認が必要です。

## 変更 各章の表が「減点基準」→「制限時間」列に整理

### 改正前

III～VI章の表に「実施要領」と「減点適用基準」の列があった

### 改正後

各章は「実施要領」と「制限時間」のみ。減点基準はII章に集約

**場面イメージ** 採点基準はII章、時間はIII～VI章と役割分担が明確に。

## 新設 VII章：問題は国・指定試験機関提供のものを使用

### 改正前

（明文規定なし）

### 改正後

机上審査・口述審査の問題は国または指定試験機関提供のものを使用

**場面イメージ** 独自作成の問題は使用不可。全国的に公平性が向上しました。

## II章 減点適用基準まとめ

# 改正後の主な減点一覧

場面	減点細目	減点	主な適用事項
飛行前 口述	点検漏れ	10点	必要な点検を1つでも行わなかったとき
	日常点検記録の記載漏れ・誤り	5点	必要な記載項目を1つでも記載しなかった・誤りがあったとき
	日常点検記録の軽微な誤り	1点	記入方法に従わず、日時・場所等を誤記したとき
実技 試験	飛行経路逸脱	5点	機体の半分以上を減点区画に進入（各区間で初回2秒以内復帰は除外）
	指示と異なる飛行	5点	指示と異なる手順・方向・高度で飛行（高度逸脱が今回新設）
飛行後 口述	飛行記録の記載漏れ・誤り	10点	飛行日誌の必要項目の記載漏れ・飛行時間の計算誤り
	飛行後の点検漏れ	5点	飛行後の状態確認に必要な点検を1つでも行わなかったとき
全場面 共通	危険な飛行・墜落・不合格区画進入・制限時間超過など	不合格	該当した時点で試験を中止し、受験者を不合格とする